

琉球大学機器分析センターニュース

IRC NEWS

創刊号

琉球大学機器分析センター
Instrumental Research Center
of University of the Ryukyus
2001年8月 Vol.1

機器分析センターのビジョン 独立法人化にむけて

機器分析センター長 上原與盛

機器センターの情報源である「IRC NEWS」がついに発刊の運びとなりました。ユーザーの皆様への情報提供のメッセンジャーとしての役割を大いに果たしてくれるものと期待しています。

当センターは平成12年4月に施設が竣工致しました。それから早や1年が経過しました。その間センターの整備・充実も着々と進み、センター職員もセンター長、専任教官（留学中）、技術専門職員、技術補佐員の四人になりました。更に、4月にセンター事務室が開設され、8月にはホームページを開設し、情報の発信、受信センターとしてユーザーへのサービスを開始しました。

ところで、今大学では、研究費の削減、定員の削減等、大学の教育・研究の環境が年々悪化していく中で、研究者への要求は年々増加している感があります。しかしながら離島県の地方大学である琉球大学におきましては、本学の研究者が他地方大学の研究者に比べて研究時間と経費に大きな負担を課され、リスクを負わされており、そのような要求に答えることは極めて厳しい状況にあります。研究者の研究時間が非常に少なく、研究に経費がかかり過ぎます。このようなリスクを無くし、研究者が迅速に研究成果が得られるよう支援することが当センターの本務であると考えます。そのことが研究者の業績向上に直接結びつくのであります。そのために、センターは最大限の努力を払わなければなりません。それには先ず、機器の整備充実が不可欠であります。概算要求による大型機器の導入は勿論、学内に分散配置された大型共同利用機器の運用のための指針を作りそれらの機器の有効利用を推進しなければなりません。更に測定のための研究時間の口を無くすために大型機器には全てオペレーターを配置する必要があります。それには、センター自らの大変な熱意と努力と工夫は言うに及ばず、ユーザー及び大学当局の大所高所からの深いご理解がなければ実現できません。このことは機器分析センターが研究者の業績向上の為にサポート出来る唯一の最も重要な責務であると同時に、機器分析センターの存在意義そのものと考えます。独立法人化の嵐が吹き荒れる21世紀、大学の存在意義が問われています。各研究者が他己評価に耐えうる業績を創造するには機器分析センターの充実は不可欠であると同時に急務を要します。独立法人化に向けて、機器分析センターの役割は益々重大になるものと考えます。皆様の尚一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



これからの機器分析センターへの期待

前機器分析センター長 平良初男

琉球大学機器分析センター施設の竣工およびセンターニュースの創刊、まことにおめでとうございます。本センターは平成9年度に設置認可以来、設置場所の検討、教官、技官組織の充実など、数々の困難を経て、今日を迎えることができましたことに對しまして、心からお祝い申し上げます。設置認可後しばらくの間は財政的にも、施設面でも利用希望者にはいろいろと不便があったかと思いますが、ここにきて、施設竣工とともに、新センター長のもとで、技官職員の配置、種々使用態勢の整備など、着々と素晴らしい進展をみせて参りました。そして、11月には九州・山口地区機器分析センター会議の開催も担っていくようでありますので、さぞや多忙の日々をお送りのことと思ひます。センター元年にも等しい今年を期して、センターの目標である、「本学の研究と教育支援組織」として、また、「地域社会の共同利用」をも視野に入れながら、本学における「大型機器の効率的な共同利用をはかる」ことを通してセンターがますます整備され、発展して行きますよう願ってやみません。



本センターの概算要求の時から数年にわたって関わりを持ってきた小生にとりましてもこの上もない慶びを感じざるを得ません。上原センター長を中心に職員一同のますますのご尽力を期待申し上げます。小生も機器運営委員会メンバーなどを通してささやかな関わりをもっていけたら幸いに思われる次第であります。

機器分析センターの設立

琉球大学機器分析センターは、平成9年4月に文部省省令により、全学共同教育研究施設として設置された。本センターの設置の目的は学内に分散している最先端の高性能大型分析機器を集中的に管理し、それらの機器を学部の枠を超えて全学的に効率よく共同利用に供し、教育及び研究の進展に資することである。さらに分析技術の研究、開発等を行う事も目的のひとつである。

センターニュース

理系複合棟（コラボレーションセンター）及び機器分析センター竣工記念式典

理学部、熱帯生物圏研究センター、機器分析センター3施設合同の理系複合棟（コラボレーションセンター）竣工記念式典および祝賀会が、平成12年10月2日文部省はじめ多数の来賓、関係者の出席のもとに盛大に挙行された。

平成13年度第4回九州・山口地区機器分析センター会議開催

平成13年度第4回九州・山口地区機器分析センター会議は、平成13年11月29日（木）琉球大学機器分析センターで開催される。10国立大学のセンターから関係者が参加し、各センターの抱える問題点について話し合われる予定。

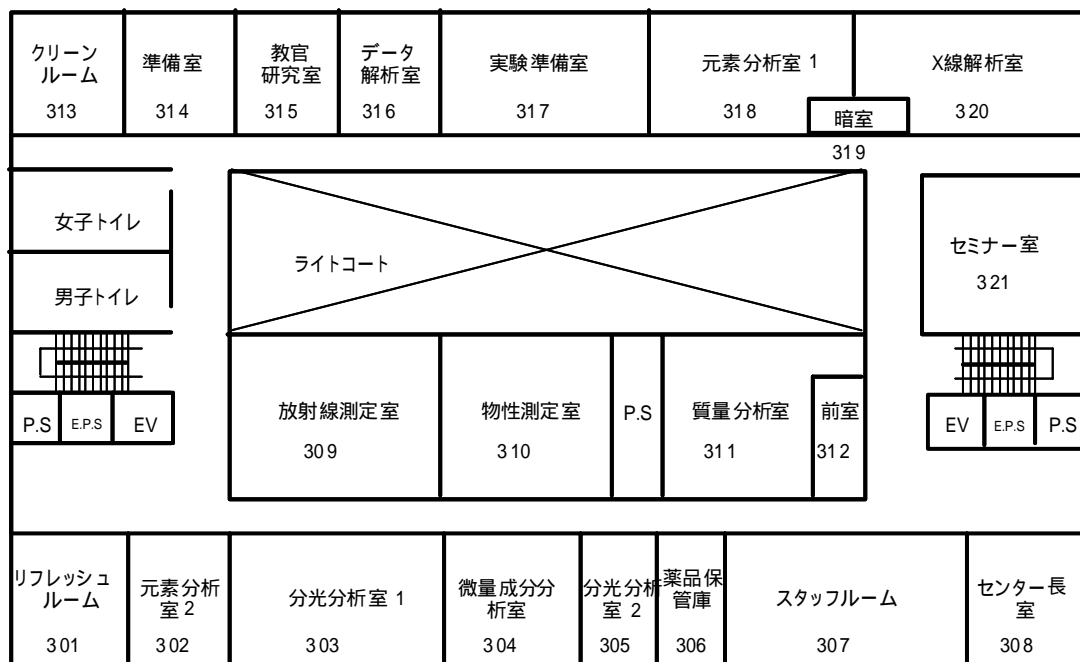
機器分析センター・ホームページを開設

平成13年8月1日に、ホームページを開設した。内容はセンターの利用について・見取り図・センター機能・スタッフ紹介・センター規則などです。

URL <http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~irc/>

施設・機器の紹介

施設の配置図



設置機器の紹介

現在、機器分析センターで管理している備品リストです。

誘導結合プラズマ質量分析装置
イオンクロマトグラフ装置
ダブルビーム分光光度計
ビードサンプラー

電子スピン共鳴装置
原子吸光光度計
線測定装置

あ ら が る と

専任教官 ^{たなはら} 棚原 ^{あきら} 朗 助教 留学

平成 12 年に設立された「小淵国際交流基金」の第 1 回奨学生としてハワイ大学 EAST - WEST CENTER に 1 年間留学。平成 13 年 3 月 29 日ハワイに向け出発し、平成 14 年 3 月 10 日帰国予定。



技術専門職員と技術補佐員の採用

^{いけはら} 池原 ^{きよこ} 清子：平成 13 年 6 月 1 日付で 20 余年間勤務していた海洋自然科学科生物系から配置換になりました。機器・分析のことは、不慣れで色々戸惑いがありますので、皆様方のご指導・ご協力をお願い致します。



^{みやひら} 宮平 ^{こずえ} こずえ：平成 13 年 5 月 1 日付で採用されました。今年 3 月に琉球大学理工学研究科海洋自然科学専攻を卒業しました。よろしく申し上げます。



全国機器分析センター会議報告

平成 12 年 11 月 8 日横浜国立大学で全国機器分析センター会議が開催された。全国 39 施設からの参加があり、当センターからはセンター長上原と専任教員棚原が参加した。特に「機器の共同利用と利用料金の課金」について議論された。

九州・山口地区機器分析センター会議報告

平成 12 年 11 月 30 日宮崎大学で九州・山口地区機器分析センター会議が開催された。9 施設からの参加者があり、センター長の上原が参加した。全国機器分析センター会議からの課題「機器分析センター間の機器の共同利用と利用料金の課金」について各センターからの報告が紹介され、それに基づいて審議が行われた。

各種委員会名簿

平成 13 年度運営委員

所属部局	職名	氏名	任期	内線番号
理学部	センター長 教授	上原與盛	12. 4. 1~ 14. 3. 31	8964
機器分析センター	助教授	棚原 朗	8. 7. 1~	8530
法文学部	教授	遠藤光男	12. 4. 1~ 14. 3. 31	8250
教育学部	助教授	安藤香織	12. 4. 1~ 14. 3. 31	8356
理学部	助教授	深水孝則	12. 4. 1~ 14. 3. 31	8891
医学部	教授	太田孝男	13. 5. 1~ 14. 3. 31	上 1155
附属病院	教授	山根誠久	12. 4. 1~ 14. 3. 31	上 1315
工学部	助教授	伊良波繁雄	12. 4. 1~ 14. 3. 31	8663
農学部	教授	林 弘也	12. 4. 1~ 14. 3. 31	8813
理学部	教授	平良初男	12. 5. 1~ 14. 4. 30	8528
理学部	教授	上原 剛	12. 5. 1~ 14. 4. 30	8897
理学部	助教授	安里英治	12. 5. 1~ 14. 4. 30	8536
工学部	助教授	斉藤正敏	12. 5. 1~ 14. 4. 30	8635
農学部	教授	新城明久	12. 5. 1~ 14. 4. 30	8756

平成 12 年度運営委員会開催記録

- 第 1 回運営委員会：平成 12 年 11 月 13 日
- 第 2 回運営委員会：平成 12 年 12 月 8 日
- 第 3 回運営委員会：平成 13 年 3 月 16 日

平成 13 年度運営委員会開催記録

- 第 1 回運営委員会：平成 13 年 7 月 18 日
- 機器分析センター分析利用料金について
- 第 4 回九州・山口地区機器分析センター会議の議題について
- 第 4 回九州・山口地区機器分析センター会議の日程について
- 共同利用機器一覧の原稿依頼について

編集後記

センターニュース「IRC NEWS」創刊号を、やっとお届けすることができました。事務室を開設して 1 年目は広報活動を中心にを行います。今年度は「共同利用機器一覧」の改訂版も発行する予定です。掲載するための原稿依頼や写真撮影などで機器の管理責任者や関係者へ色々のご協力を頂くことになるとと思いますので、よろしくお願い致します。(池原&宮平)

機器分析センター機器管理部会

誘導結合プラズマ質量分析計管理部会委員

部会長 理学部 教授 平良初男
 委員 理学部 教授 渡久山章
 ” 理学部 教授 大森 保

電子スピン共鳴装置管理部会委員

部会長 理学部 教授 普久原朝喜
 委員 理学部 教授 安里英治
 ” 理学部 教授 上門直子

IRC NEWS

琉球大学機器分析センターニュース
創刊号 平成 13 年 8 月発行

琉球大学機器分析センター

〒903-0213

沖縄県西原町千原 1 番地

TEL/FAX 098-895-8967〔事務室〕

e-mail irc@lab.u-ryukyu.ac.jp

URL http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~irc/